

お子さんの

耳

もしかして…

ちゃんと聞こえてないかも!?

ごはん  
ですよ!!

しんじゅつせい      ちゅうじえん  
 「**滲出性中耳炎**」かもしれません。

「もしかしたら?」が発見のきっかけです。

2~3歳

- おこりっぽく、よく泣く。
- 言葉の発達が遅い。

3~6歳

- 後ろから呼んでも返事をしない。
- 大きな声でしゃべる。
- テレビの音を大きくする。
- 言ったことを聞き返す。

6歳以上

- 落ち着きがない。
- 協調性がない。
- 積極性がない。
- 内向的である。

## 耳が痛くない!…から要注意

一般に知られている中耳炎は、急性中耳炎といわれている病気です。細菌による化膿性の炎症で、比較的、耳が痛むので発見しやすい病気です。しかし滲出性中耳炎は、耳の中に粘膜から滲みだす水(滲出液)がたまり、耳が聞こえにくくなる病気。耳が痛くないので気づきにくく、発見が遅くなります。

## お子さんに多い滲出性中耳炎

5歳ぐらいまでのお子さんをお持ちの方は特にご注意ください。滲出性中耳炎は、この年齢層までがピークで、気がついてあげられるのは身近な方だけです。

## ほっておくと、どうなるの?

滲出性中耳炎の聞こえにくさの程度は軽いのですが、ほっておくと治りにくくなります。さらにこの状態が続くと、日常生活の中で音を通じた学習が少なくなるため、伸び盛りのお子さんの知的な成長が遅れてしまう恐れもあります。

気づいた点がありましたら、すぐに医師にご相談ください。耳に関する病気は、症状が異なりますので、異常に気づいたら医師にご相談ください。



日本耳鼻咽喉科医会

協賛 杏林製薬株式会社